

作成日 2022 年 5 月 17 日
(最終更新日 2022 年 5 月 17 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 2022-1-279

課題名：超緊急帝王切開に関する疫学研究

1. 研究の対象

2017年1月から2021年9月に当院でgradeA帝王切開を施行された方

2. 研究期間

2022年6月(倫理委員会承認後)～2024年5月

3. 研究目的

当院における超緊急帝王切開 (gradeA帝王切開) の成績について調査し、gradeA帝王切開シミュレーションの効果について評価することを目的とする。

4. 研究方法

2017年1月から2021年9月に当院で行われた gradeA 帝王切開の症例を対象として、後ろ向きコホート研究を行う。収集データを元に、シミュレーションの継続により DDI が維持できているかどうかを検討する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、妊娠回数、分娩回数、BMI、医療機関、居住地域、入院または外来、搬送の有無、合併症、妊娠週数、分娩年月日、術前診断、到着時間、gradeA 決定時間、手術室入室時間、麻酔開始時間、手術開始時間、児娩出時間、DDI、手術終了時間、術中出血量、総出血量、術者、術者の医師年数、助手、助手の医師年数、担当助産師、担当助産師の帝王切開シミュレーション参加の有無、術後診断、術中所見、胎盤所見、臍帯付着部、児の出生体重、児の性別、Apgar スコア 1 分値、Apgar スコア 5 分値、児の蘇生の有無、児の NICU 入院の有無、母体入院日数、児の入院日数、術後合併症、周産期死亡、新生児死亡、勤務帯の情報等

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反なし

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

工藤理永 大学院生
東北大学医学系研究科博士課程医科学専攻
980-8574
住所 仙台市青葉区星稜町 1-1 産婦人科医局
TEL 022-717-7251 FAX 022-717-7258
E-mail rie.kudo.b1@tohoku.ac.jp

研究責任者：

星合 哲郎 講師
東北大学病院 産婦人科
〒980-8574
住所 仙台市青葉区星稜町1-1
TEL 022-717-7251 FAX 022-717-7258
E-mail tetsuro.hoshiai.c1@tohoku.ac.jp

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「9. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合